1. 目的 1
2. テスト実施時期 1
3. テスト対象銘柄 2
4. 危害情報システムより 3
5. テスト結果 7
(1) 温度及び構造等 7
1) 使用中の温度 7
2) 使用後のアイロンの冷めやすさ 9
3) 安全対策 10
4) 転倒など 12
(2) 表示 13
6. アンケート調査結果 13
(1) 消費者へのアンケート 13
(2) メーカーへのアンケート 16
7. 消費者へのアドバイス 17
8. 業界への要望 18
9. テスト方法 19
(1) 温度及び構造等 19
1) 使用中の温度など 19
2) 使用後のアイロンの冷めやすさ 19
3) 安全対策 19
4) 転倒など 19
(2) 表示 20
1) 本体の高温表示 20
2) 注意表示 20

参考資料
(1) 消費者へのアンケート調査結果 21
(2) メーカーへのアンケート調査結果 23
(3) 主な仕様 ..... 25、26
(4) やけどなどに関する警告、注意表示 ..... 27、28

1. 目的

国民生活センター危害情報システム[注1)]の病院情報によると、2003 年度以降 2008 年度までに電気アイロン(以下､「アイロン」という。)によるやけどの事故事例[注2)]は 165 件寄せられており、そのうち 10 歳未満の子ども[注3)]の事例は 127 件(77.0%)、特に 2 歳以下の乳幼児に限れば 102 件(61.8%)と高い割合になっている。

子どもの事故事例を見ると、「アイロンをしている母親のそばに子どもがよってきて、誤ってアイロンに触れてやけどした」などの使用中のほか、「コンセントを抜いたアイロンに子どもが左手で触ってしまった」などの使用後や、「親が目を離したすきに置いてあったアイロンに子どもが手を伸ばし触ってしまった」などの大人が少し目を離したときにも起きている。

そこで、子どものやけど事故を減らすために、使用後のアイロンがどのくらいの時間までやけどをする状態なのか、また、やけど防止の対策としてどのような構造や表示などが考えられるのかを調べるとともに、消費者やメーカーに対するアンケート調査も実施し、消費者に情報提供する。

注 1) 商品やサービス等により生命や身体に危害を受けたり（危害情報)、そのおそれのある情報（危険情報）を全国の危害情報収集協力病院及び消費生活センターからオンラインで収集・分析し、消費者被害の未然防止・拡大防止に役立てることを目的として作られたシステム。

注2）2003年4月1日以降、2008年11月末日までに寄せられた事故事例。

注3）本報告書では、特に断らない限り「子ども」とは10歳未満の者をいう。

2. テスト実施時期

検　体　購　入：2008 年 10～11 月

テ ス ト 期 間：2008 年 11～12 月

アンケート調査：2008 年 10～12 月

3. テスト対象銘柄

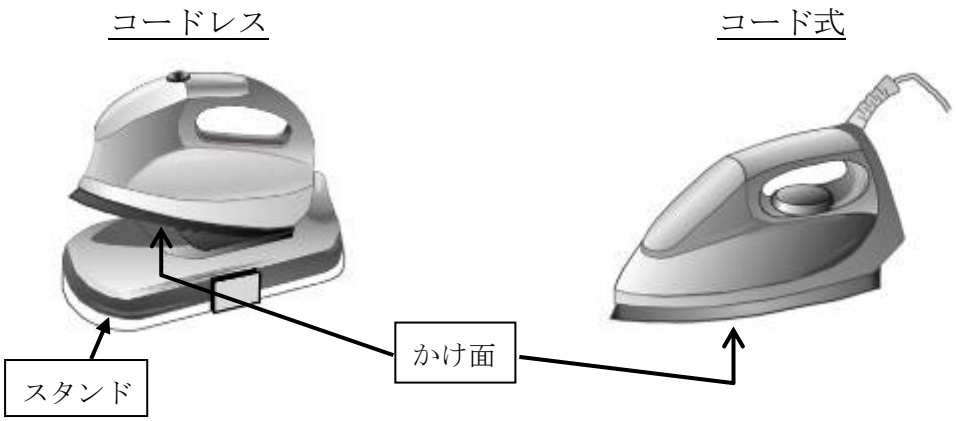
大手家電メーカーの製品を中心に、電源コード(コードレス、コード式)や消費電力(1200W 以上、1000W)の違いのほか、やけど防止の工夫をしたものなどを加えた 4 社 10 銘柄をテスト対象とした(表 1 参照)。

表 1　テスト対象銘柄

No.	電源コード	スタンド有無	銘柄名	品番等	製造又は販売会社名	消費電力(約)(W)	本体重量	購入価格(円)	スタンドの構造など	自動電源切り忘れ防止装置(オートパワーオフ等)
1	コードレス	あり	コードレススチームアイロン	A-AG100	三洋電機(株)	1,200	アイロン約1.1kg 収納時約2.3kg	14,800	ぐるっとガード[注3]	あり
2			東芝コードレススチームアイロン	TA-FVX101	東芝ホームアプライアンス(株)	1,200	アイロン約1.25kg 収納時約2.3kg	19,800	セーフステーション[注3]	あり
3			コードレス　スチームアイロン	NI-CL605	松下電器産業(株)[注1]	1,400	アイロン約1.0kg 収納時約2.0kg	15,800	－	あり
4	コード式		ティファール スチームジェネレーター プロミニッツ	GV6600J0	(株)グループセブ　ジャパン	1,500 (アイロン700W、ボイラースタンド800W)	アイロン1.2kg ボイラー2.3kg	50,400[注2]	ロック機能	なし
5		なし	ティファール スチームアイロン プログラム⑧シリーズ	FV9340J0	(株)グループセブ　ジャパン	1,400	1.5kg	21,000[注2]	－	あり
6			スチームアイロン	A-SW12	三洋電機(株)	1,200	約1.2kg	5,980		あり
7			東芝スチームアイロン	TA-GX100	東芝ホームアプライアンス(株)	1,200	約1.6kg	15,800		あり
8			コードリール付き スチームアイロン	NI-R70	松下電器産業(株)[注1]	1,400	約1.7kg	14,800		あり
9			東芝スチームアイロン	TA-DX5	東芝ホームアプライアンス(株)	1,000	約1.1kg	4,880		なし
10			コードリール付き スチームアイロン	NI-R35	松下電器産業(株)[注1]	1,000	約1.3kg	5,280		なし

このテスト結果は、テストのために購入した商品のみに関するものである
注1)松下電器産業(株)は、現在パナソニック(株)に社名変更
注2)メーカー希望小売価格(税込み)
注3)熱くなったかけ面を覆う対策を施したスタンド

(各部の名称)



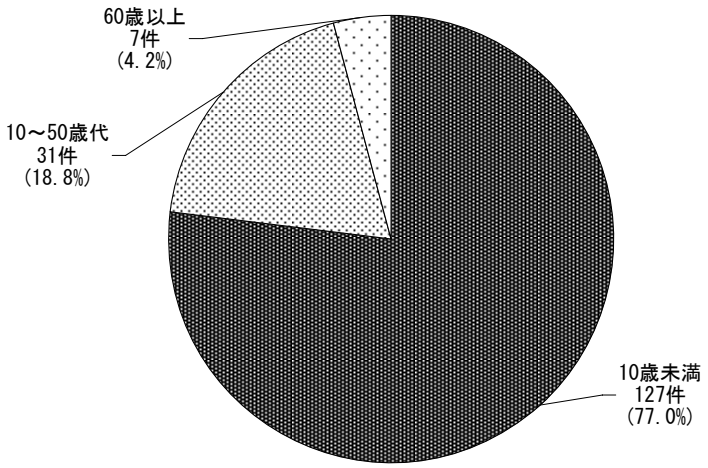
4. 危害情報システムより

国民生活センター危害情報システムの病院情報で 2003 年度以降 2008 年度(2008 年 11 月末日)までのアイロンによるやけどの事故事例について調べた。

(1) 被害者の年代別件数

アイロンによるやけどの事故事例は 165 件寄せられており、そのうち子どもによる事例は 127 件(77.0%)である

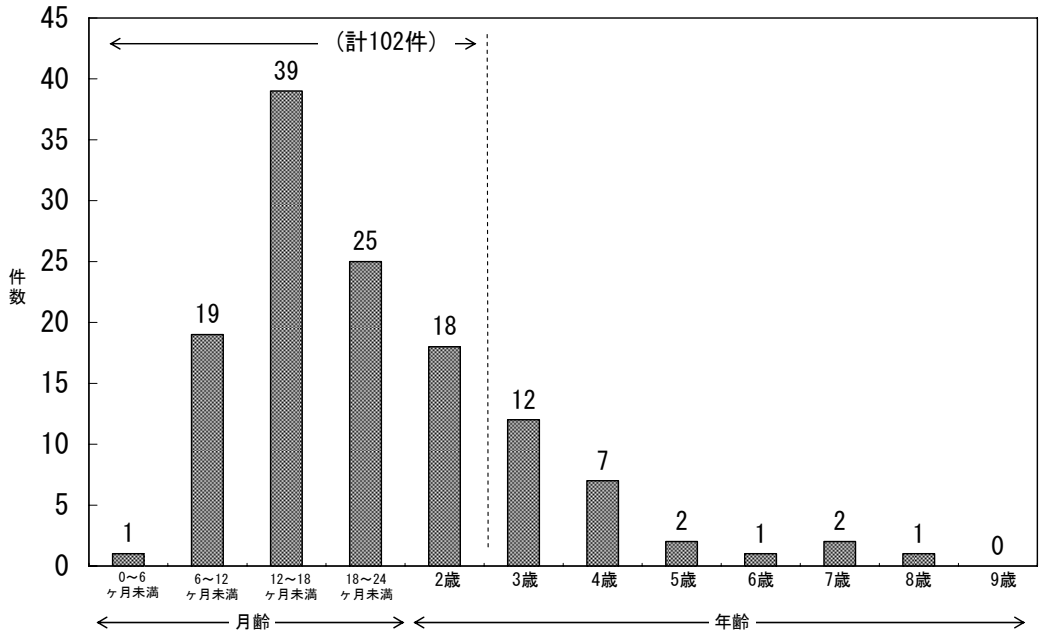
図 1　年代別やけどの件数



(2) 子どもの月年齢とやけどの程度

1) アイロンによる子どものやけど事例 127 件を見ると 12～18 ヶ月未満が 39 件と最も多く、2 歳以下の乳幼児で 102 件(80.3%)と高い割合を占めている

図 2　子どもの月年齢とやけどの件数



2) アイロンによる子どものやけどの程度が判明した 110 件中、Ⅰ度が 26 件(23.7%)、Ⅱ度が 81 件(73.6%)、Ⅲ度が 3 件(2.7%)であった

図 3　やけどの程度

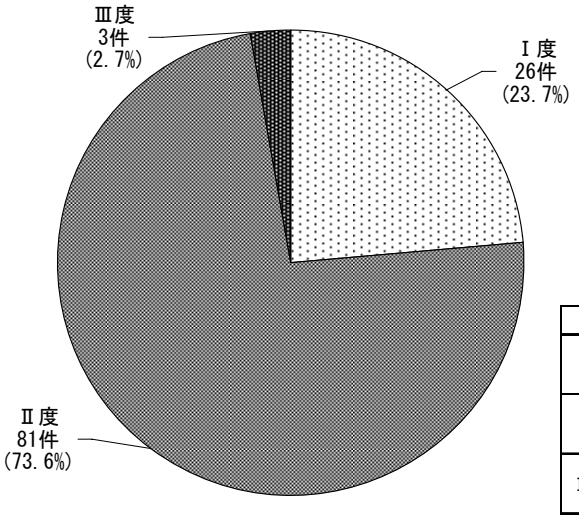


表 2　やけどの深さと症状

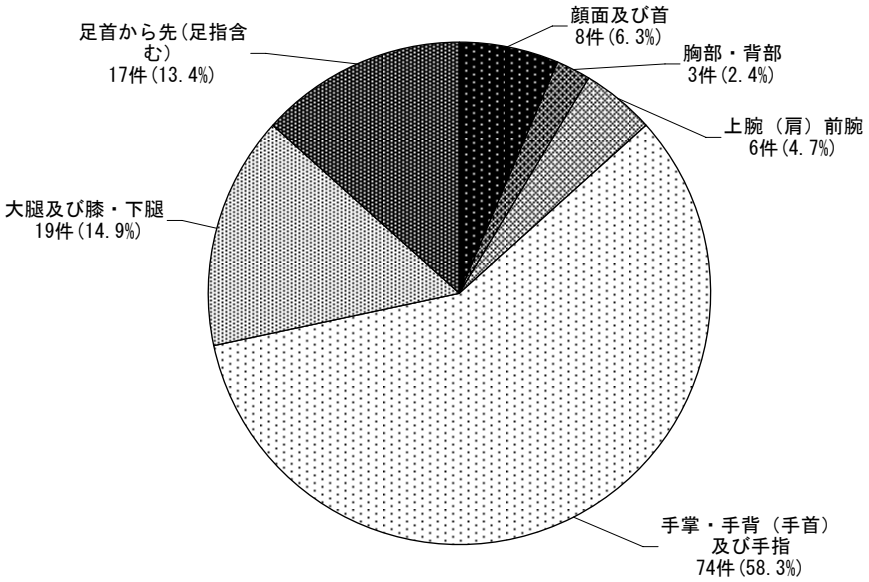
	症状	皮膚の外見	冷やした後の処置
Ⅰ度	ヒリヒリ痛い	赤くなる	清潔なガーゼで傷口を保護する(自然治癒)
Ⅱ度	強い痛み	水ぶくれができる	清潔なガーゼでおおい、医師へ
Ⅲ度	痛みはない	白っぽくなる 黒く焦げる	ただちに病院へ

参考文献：家庭の医学(第六版)；保健同人社

(3) やけどの部位

アイロンによる子どものやけど(127 件)の部位は、手首から先が 74 件(58.3%)であるが、大腿など下肢も 36 件(28.3%)に上っている

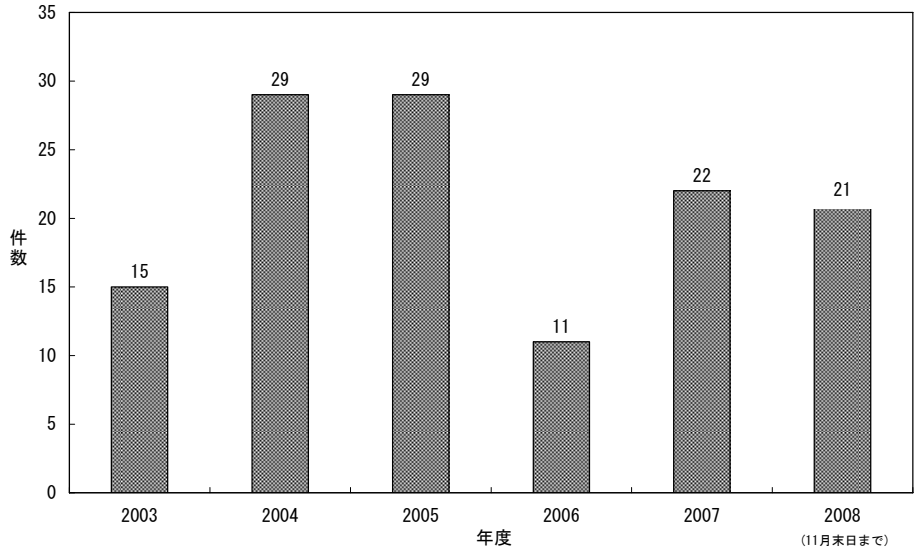
図 4　やけどの部位



(4) 年度別件数

アイロンによる子どものやけど(127 件)を年度別件数でみると、増減はあるものの各年度、ほぼ 20 件程度寄せられている

図 5　子どものやけどの年度別件数



(5) 主な事故事例

1) 使用中の事例

【事例 1】

スイッチの入ったアイロンの近くで子どもが遊んでいたところ、コードを引っ張り倒してしまい手にやけどを負ってしまった。(2008 年 10 月、1 歳、女児)

【事例 2】

誤って子どもがスイッチの入っているアイロンを左手でさわりやけどした。(2007 年 11 月、3 歳、女児)

【事例 3】

アイロンをしている母親のそばに子どもがよってきて、誤ってアイロンに触れて右手をやけどした。(2006 年 5 月、0 歳、女児)

【事例 4】

加熱中のアイロンに子どもが触れやけどした。(2004 年 8 月、1 歳、男児)

【事例 5】

アイロンをかけていたところ子どもが近くにいる事に気付かず誤ってアイロンを子どもに接触させてしまった。(2003 年 7 月、2 歳、女児)

2) 使用後の事例

【事例 6】

電源を切って 30 分くらいあとのアイロンに子どもが触ってしまった。(2008 年 6 月、1 歳、男児)

【事例 7】

居間で遊んでいた子どもが、使い終わって間もないアイロンを足に落としてしまった。

(2007 年 4 月、0 歳、女児)

【事例 8】

コンセントを抜いたアイロンに子どもが左手で触ってしまった。 (2006 年 4 月、1 歳、女児)

【事例 9】

居間で遊んでいた子どもが、電源を切った後のアイロンに左足をぶつけた。

(2005 年 8 月、6 歳、女児)

【事例 10】

母親がアイロンを使用後 1m位の台の上に置いておいたら、気がつくとアイロンが床に転がっていて、子どもの顔面にアイロンのやけどの跡がはっきりついていた。 (2004 年 4 月、1 歳、女児)

3) 大人が目を離したときの事例

【事例 11】

母親が居間でアイロンかけをして席を外した時、電源を切ってあったアイロンを子どもが触ってしまった。 (2008 年 9 月、4 歳、男児)

【事例 12】

母親が目を離したすきに子どもがアイロンに近づいて、子どもの右手背にアイロンが倒れかかりやけどを負ってしまった。 (2008 年 7 月、0 歳、女児)

【事例 13】

親が目を離したすきに、置いてあったアイロンに子どもが手を伸ばしてしまい、左手で触ってしまった。 (2007 年 4 月、1 歳、男児)

【事例 14】

祖母が目を離したすきに別室に置いてあったアイロンを子どもが触ってしまった。

(2005 年 11 月、1 歳、女児)

【事例 15】

母親がアイロンかけをしていたが、姉をトイレに連れて行っている間に妹がアイロンを触ってしまった。 (2004 年 12 月、0 歳、女児)

5. テスト結果

使用中のかけ面などの温度を測定するとともに、電源を切った後安全な温度になるまでの時間や、やけど防止の安全対策の内容や効果について調べた。

(1) 温度及び構造等

1) 使用中の温度

① 露出したかけ面などは電源を入れてから 9～31 秒後には 45℃を越え、最高温度は 200℃を越えている

使用中に子どもがやけどをした事例があることから、かけ面などがアイロンの電源を入れてからどのくらいの時間でやけどする可能性がある温度になるのか調べた(写真 1 参照)。その結果、かけ面の側部やかけ面は通電後 9～31 秒で 45℃[注 1)] を越え、その 8～18 秒後にはやけどの可能性のある温度である 70℃[注 2)] に達した。また、かけ面は最高温度に設定すると、どの銘柄も 200℃を越えていた(表 3 参照)。

注1) 玩具安全基準書(ST-2002)
「熱源のついた玩具」第 2 項には「手が触れることが目的の部品、たとえばハンドル、ノブ、調整つまみ、グリップ等の温度上昇は、玩具を作動(環境温度 20±5℃)させたとき、金属部は 25K(ケルビン、温度の国際単位)を越えてはならない。」と記載されている。これを準用して環境温度 20℃のときの金属部の温度 45℃以下を「安全」とした。

注2) 「最新の熱傷臨床－その理論と実際－」元東京女子医科大学教授平山峻、杏林大学教授島崎修次編集　克誠堂出版、P23 によれば、「70℃以上の温度では、表皮の温度が平衡に達すると、その時点で細胞傷害が確認される」とある。

写真 1　表面温度(例)

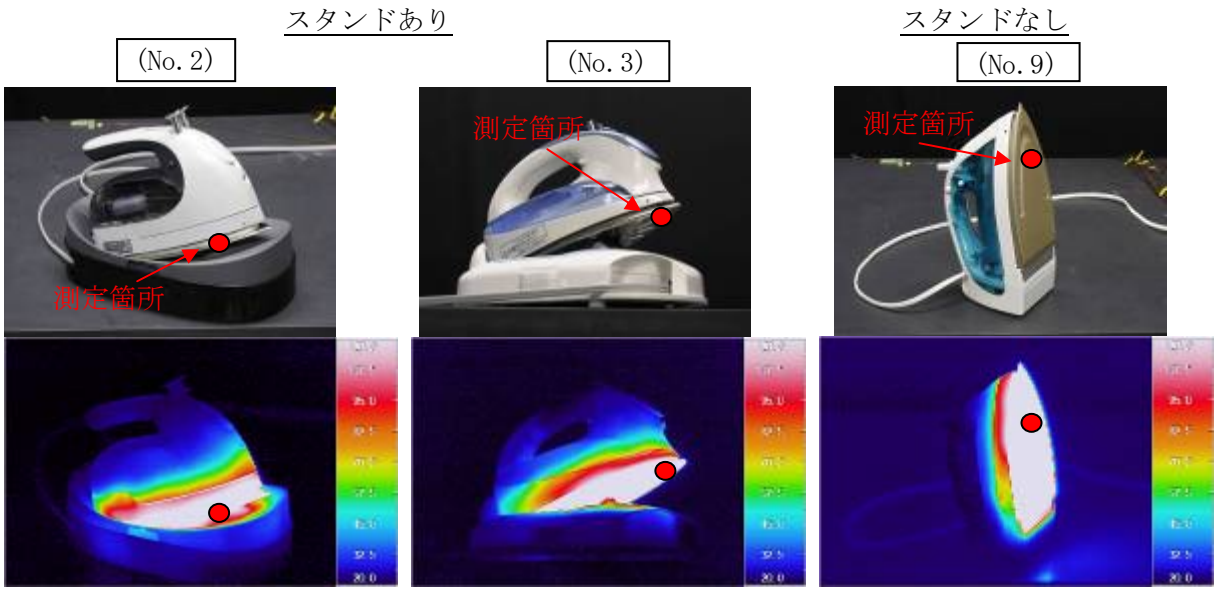


表３　表面温度

No.	電源コード	スタンド有無	表面温度が45、70℃を超える時間（秒）			かけ面の最高温度
			45℃	70℃	測定箇所	
1	コードレス	あり	17	29	かけ面側部	～約230℃
2			31	49		～約220℃
3			27	38	かけ面	～約230℃
4	コード式		23＊	40＊	かけ面側部	～約290℃
5		なし	16	28	かけ面	～約270℃
6			9	17		～約240℃
7			24	39		～約220℃
8			19	30		～約220℃
9			9	18		～約250℃
10			10	21		～約240℃

＊スチームボイラー通電後からは約７分

② アイロンだけでなく、アイロンのスタンドも高温となっているので注意が必要である

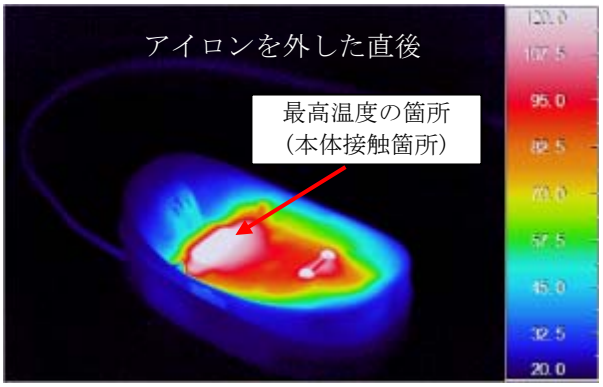
コードレスの 3 銘柄は、使用すると温度が下がるのでアイロンをスタンドにおいて元の高い温度にする必要がある。また、コード式の１銘柄もスタンドを付属していた。

そこで、4 銘柄について使用中のスタンドの温度を測定した結果、かけ面が接触しているスタンドの箇所は、約 110～170℃と高温で、やけどに注意する必要があった(表 4、写真 2 参照)。

表４　スタンドの温度

No.	電源コード	スタンド有無	スタンドの最高温度	
			本体を外した直後	本体を外した1分後
1	コードレス	あり	約170℃	約90℃
2			約150℃	約90℃
3			約110℃	約60℃
4	コード式		約160℃	約90℃

写真２　スタンドの温度(例、No.2)



2)　使用後のアイロンの冷めやすさ

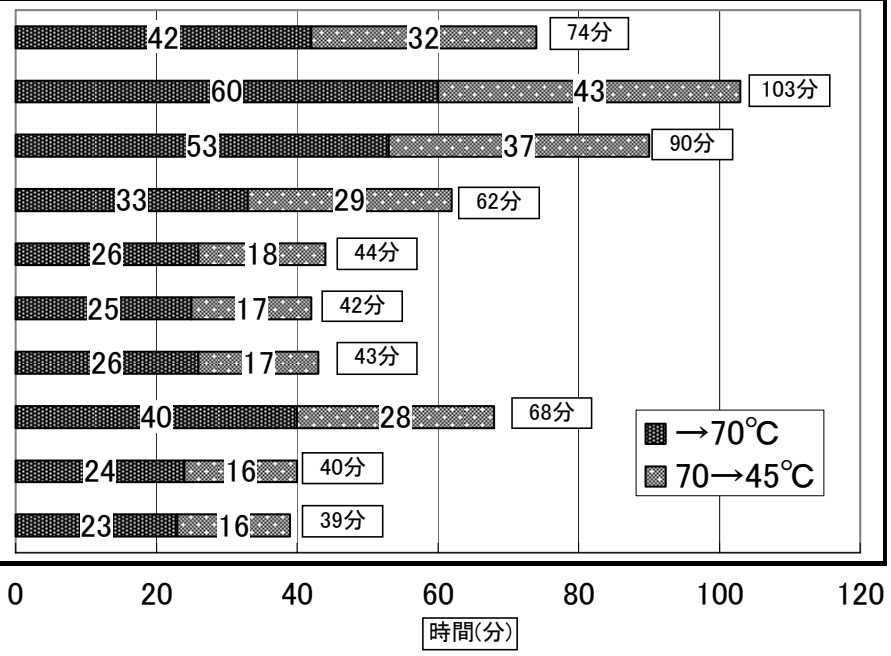
①　電源を切った後、アイロンの温度が 45℃まで下がるのにコードレスが 74～103 分、コード式でも 39～68 分かかり、長い時間冷めないこともやけど事故の要因と考えられる

アイロンによる子どものやけど事故には､使用後のアイロンに触れて起きている事例もある。そこで、アイロンの表面温度が触れてもすぐにはやけどになりにくい 45℃に下がるまでの時間を調べた。

その結果、コードレスはかけ面がスタンドで覆われ放熱しにくいこと等から 74～103 分と、コード式の 39～68 分に比べ冷めにくいことがわかったが、どちらも長い時間やけどする可能性のある温度状態であり､使用後のやけど事故の要因となっていることが考えられる(表 5 参照)。

表５　アイロンの冷める時間

No.	電源コード	スタンド有無	電源を切った直後の温度	70℃、45℃まで下がる時間
1	コードレス	あり	約220℃	42 + 32 = 74分
2	コードレス	あり	約210℃	60 + 43 = 103分
3	コードレス	あり	約210℃	53 + 37 = 90分
4	コード式	あり	約260℃	33 + 29 = 62分
5	コード式	なし	約230℃	26 + 18 = 44分
6	コード式	なし	約230℃	25 + 17 = 42分
7	コード式	なし	約220℃	26 + 17 = 43分
8	コード式	なし	約210℃	40 + 28 = 68分
9	コード式	なし	約240℃	24 + 16 = 40分
10	コード式	なし	約230℃	23 + 16 = 39分



3)　安全対策

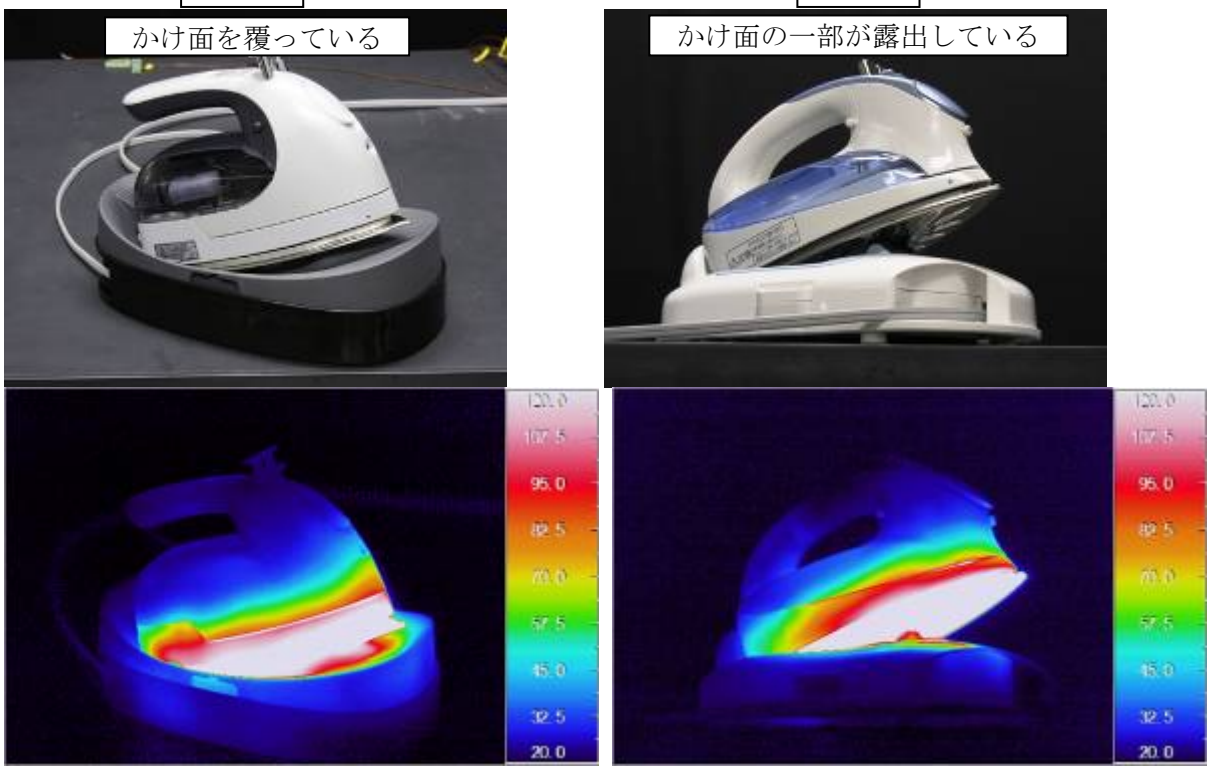
（使用中の安全対策）

①　スタンド付の銘柄の中には、高温になるかけ面の露出を小さくし触れにくくしたものもある

スタンド付の 4 銘柄は、かけ面の側部など高温になり触れる可能性はあったが、高温になるかけ面全体をスタンドで覆うように工夫したものがあった(No.1、2、4)。一方、1 銘柄(No.3)はかけ面の先端がスタンドから露出していた(写真 3 参照)。

写真３　スタンドに置いたときのかけ面の露出(例)

(No. 2)　　(No. 3)

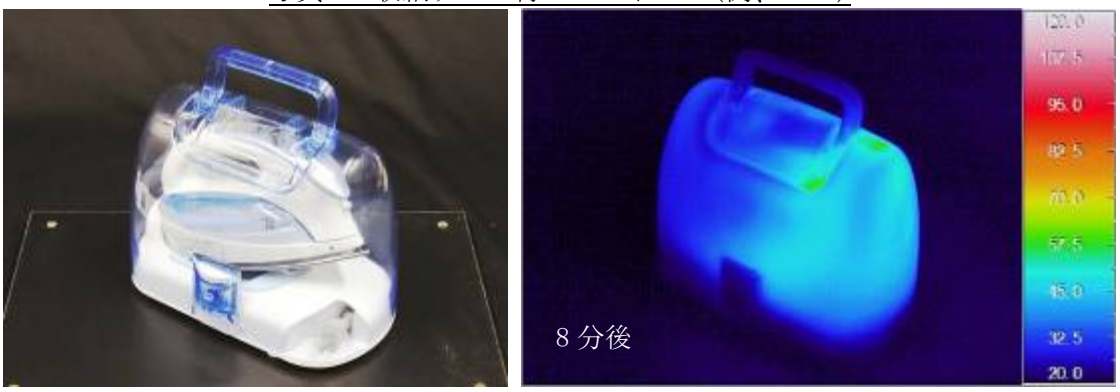


（使用後の安全対策）

② <u>コードレスは 3 銘柄とも収納ケース付であり、使用後にアイロンに被せたケースの表面は比較的低い温度なのでやけど防止に有効と考えられる</u>

使用後の冷却に時間がかかるコードレスの 3 銘柄は、収納ケースでスタンドとアイロンを被せることで直接子どもが触れられないようにできる。このようにしたときの収納ケースの表面は4～9分後に最も温度が高くなり、局所的には約50～60℃であるものの比較的低い温度なので、やけど事故防止には有効と考えられる(写真４参照)。

写真４　収納ケース付のコードレス(例、No. 3)



③ 使用後、アイロンのかけ面をスタンドに固定し、転倒しても高温となったかけ面が露出しないようロック機能を備えたものもある

スタンド付の 4 銘柄中 1 銘柄(No.4)は、スタンドに本体を固定するロック機能を有しており、万が一転倒しても、かけ面が露出しないようになっていた(写真 5 参照)。

写真 5　スタンドに装備されたロック機能(No.4)

(ロック時には、転倒してもかけ面が露出しなかった)

4) 転倒など

① アイロンは軽い力で簡単に転倒し危険である

アイロンを倒してやけどを負っている事例があることから、どの程度の力で転倒するのかを調べた。満水状態のアイロンを、スタンド付はスタンドに置いて、スタンドなしは立てた状態で、取っ手を水平に引っ張り転倒したときの荷重を測定した。

その結果、0.3～0.7kgf という小さな力で転倒するため、子どもが引っ張るなどすると簡単に転倒するため危険である(表 6 参照)。

表 6　転倒するときの荷重

No.	電源コード	スタンド	取っ手を水平に引っ張り転倒したときの荷重	
			荷重	方向
1	コードレス	あり	0.6kgf	側方
2			0.7kgf	前方
3			0.5kgf	前方
4	コード式		0.5kgf(ロックなし) 1.3kgf(ロック時)	側方
5		なし	0.6kgf	かけ面側
6			0.3kgf	側方
7			0.4kgf	かけ面側
8			0.5kgf	かけ面側
9			0.3kgf	かけ面側
10			0.4kgf	かけ面側

② アイロンが転倒したとき熱湯やスチームがもれるものはなかった

アイロンが転倒したときに、熱湯やスチームがもれることがないか調べたところ、温度の低い水滴がこぼれるものがあったものの、特に問題はなかった。

(2) 表示

（本体の高温表示）

1) 使用後に高温になったかけ面を視覚的に確認できるものはなかった

使用後、かけ面が高温になっていることを使用者が視覚的に確認できる機能があればやけど事故を防止するために有効と考えられるので、そのような機能があるか調べた。

その結果、どの銘柄も電源を入れた場合には本体ランプが点灯又は点滅するが、使用した後に電源コードを抜くとランプは消灯した。使用後、かけ面が高温の状態であることがわかる温度表示等で視覚的に確認できる銘柄はなかった。

（注意表示）

2) 製品本体に高温部でのやけどの注意表示がないものもある

高温部でのやけどに関する製品本体の注意表示があるかどうか調べた結果、2 銘柄(No.4、5)には表示がなかった。なお、全ての銘柄の取扱説明書には「子どもへの注意、高温部やスチームによるやけどの注意」旨が記載されていた。

6. アンケート調査結果

(1) 消費者へのアンケート

アイロンの使用実態や子どものやけど事故等の現状を調査するため、幼稚園児、保育園児のいる家庭を対象にアンケートを行った(詳細は参考資料参照)。

- 実施時期　：2008 年 10～11 月
- 回答数　：383 家庭
- 性別　：女性 376 人(98.2%)、男性 7 人(1.8%)
- 平均年齢　：35.3 歳

1) 子どものいる家庭のほとんどがアイロンを所有し、週に 1 回以上使用している人や、子どもがそばにいる状況で使用している人が各々半数以上を占めている

アイロンを 375 人(97.9%)が所有しており、週に 1 回以上使用している人が 195 人(52.0%)と半数以上であった(図 6 参照)。また、使用する際に子どもがそばにいることが「よくある」、「たまにある」と答えた人が 192 人 (51.2%) と半数以上を占めていた(図 7 参照)。

図 6　使用頻度

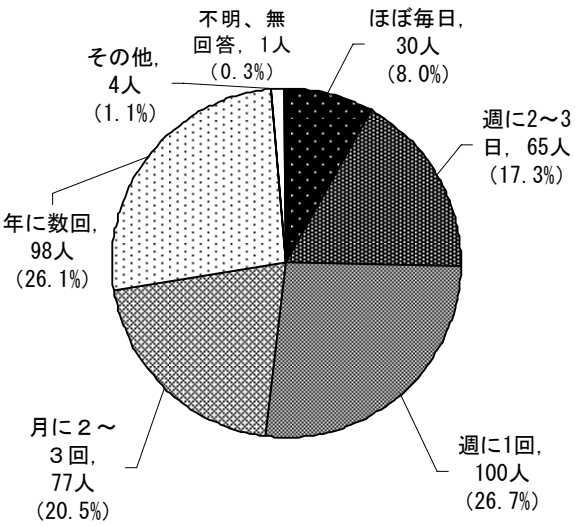
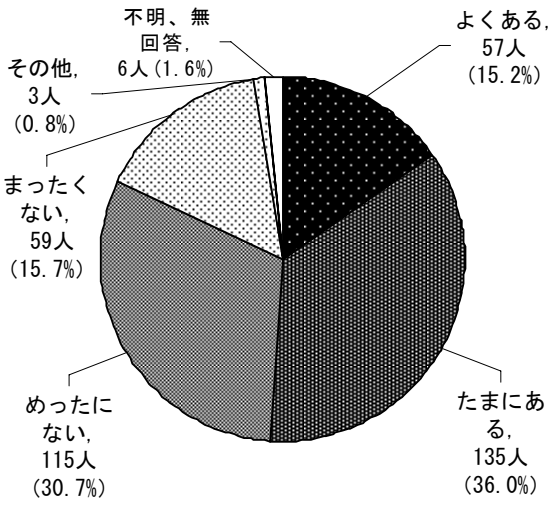


図 7　使用時に子どもがそばにいるか



2)　**子どもが「やけどした」、「しそうになった」人は全体の 17.1%もいるが、そのことを申し出ている人はいない**

アイロンで子どもが「やけどをした」と回答した人は 25 人(6.7%)、「やけどをしそうになった」と回答した人は 39 人(10.4%)と合計で 64 人(17.1%)もいた(図 8 参照)。また、回答した 64 人のうち 62 人(96.9%)は、そのことをどこにも申し出てなかった(表 7 参照)。

図 8　やけどの経験

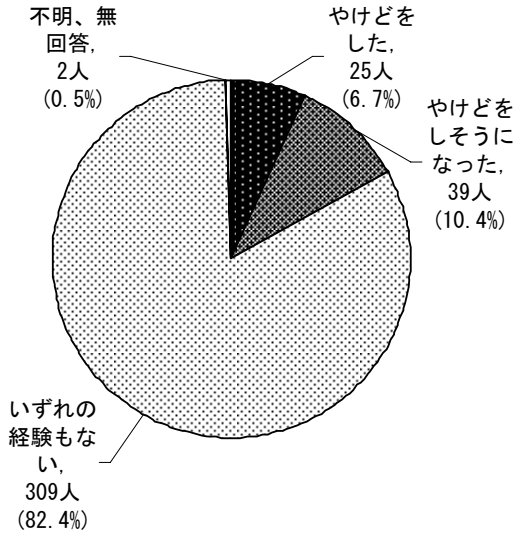


表 7　やけどの申し出

申し出た先など	(人)	(%)
販売店	0	0.0
メーカー	0	0.0
消費生活センター	0	0.0
申し出なかった	62	96.9
その他	0	0.0
不明、無回答	2	3.1

3)　**子どもが「やけどした」、「しそうになった」状況は、アイロンが床や低いテーブルに置かれた状態で、大人が見ているときや少し目を離したときに多数起きている**

子どもが「やけどをした」、「しそうになった」状況は、使用中(38 人、59.4%)や使用直後(18 人、28.1%)に起きており、大人が見ているときや少し目を離したときに多数起きていた(図 9 参照)。また、アイロンは子どもが触れる「床・畳の上(42 人、65.6%)」、「低いテーブルなど(17 人、26.5%)」に置かれていた(図 10 参照)。

図 9　事故時の状況等

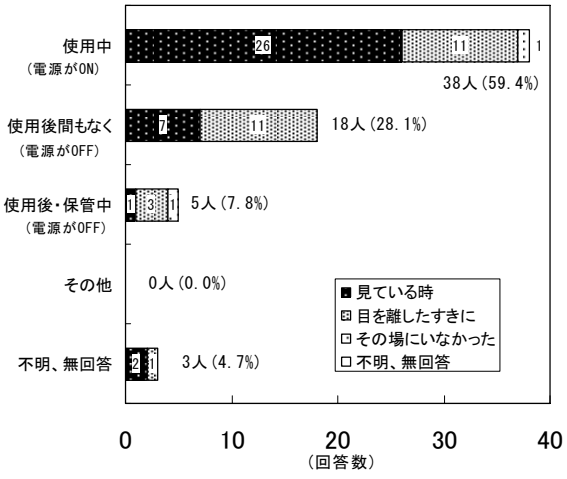
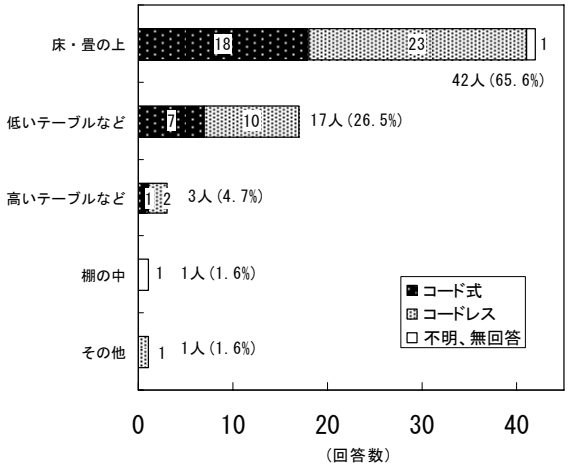


図 10　事故時のアイロンの置き場所



4)　<u>簡単に子どものやけどを防止できると回答した人が多い反面、やけど事故などの経験者はもう一度やけどするかもしれないと回答した人が約 6 割を占めていた</u>

使用中や使用直後に子どもを近づけないようにすることや、やけどを防止することは、簡単と回答した人は約 6～8 割と多かった(図 11、12、13 参照)。しかし、やけど事故などを経験した人(64 人)は、もう一度やけどするかもしれないと思っている人が 38 人と約 6 割を占めていた(図 14 参照)。

図 11　使用中、子どもを近づかせないこと

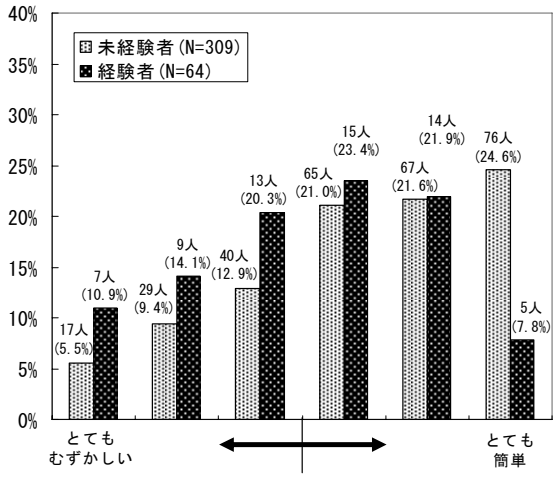


図 12　使用後、子どもを近づかせないこと

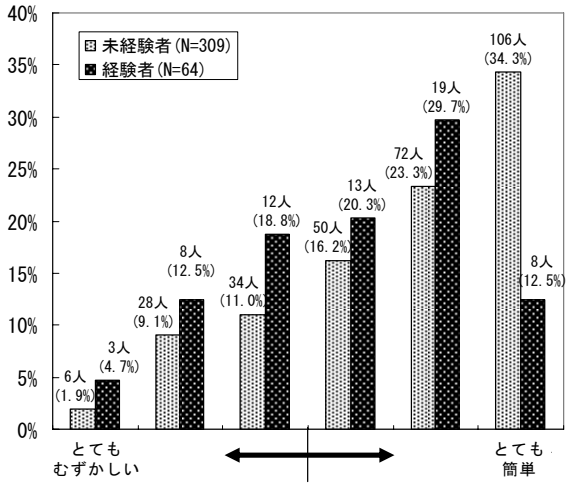


図 13　やけどを家族で防ぐことは

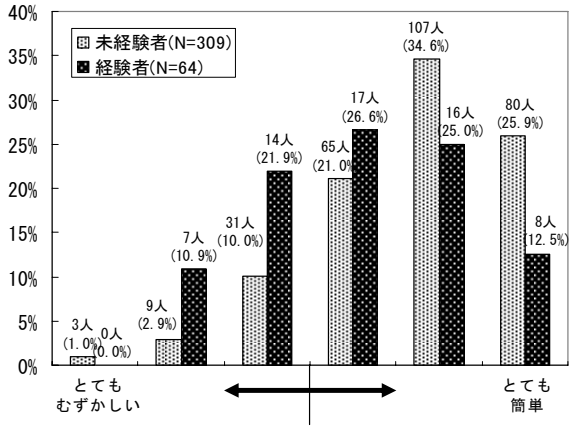
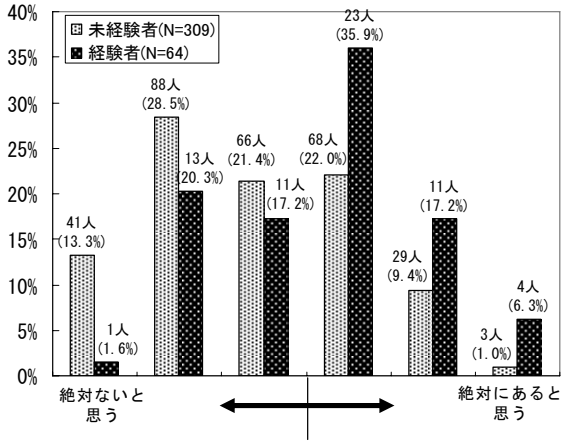
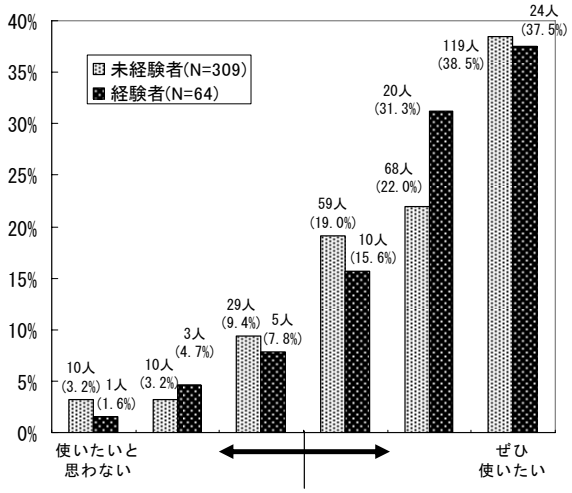


図 14　やけどの可能性



5)　**やけど予防の工夫をした商品があれば使いたいと思っている**

図 15　手ごろな値段の防止対策品の使用



(2) メーカーへのアンケート

テスト対象銘柄の製造又は販売会社(4社)を対象にアイロンの安全対策に対する取組み等についてアンケート調査を行った(詳細は参考資料参照)。

- 実施時期　　：2008 年 11～12 月
- 回答社名　　：(株)グループセブ ジャパン
  三洋電機(株)
  東芝ホームテクノ(株)
  パナソニック(株) ホームアプライアンス社

子どものやけどの報告を受けたことはほとんどないが、やけど防止のために改善に取り組んでいる、または取り組んだとの回答が多い

製品の不具合以外で子どもがやけどした旨の報告を受けたことはないと 3 社が回答しているが、子どものやけど防止については、すでに製品の改善に取り組んだと 3 社が回答した。

取り組んでいるやけど防止策の中で、子どものやけど防止に有効と考えている具体的な内容は、

- 保護者・大人に向けた注意表示
- 自動電源停止装置(オートオフなど)の装備
- 使用後にコードを引っ張らないためにコンパクトに収納できる電源コード(コードリール式など)の装備
- 使用後速やかにアイロンを覆うことのできる収納ケースの装備

であった。

また、製品化はできないものの、子どものやけど防止に有効と 4 社とも回答した具体的な内容は、

- 使用後のかけ面などの温度を速やかに下げる機能
- 使用後の余熱を知らせる視覚表示器
- 高温部が露出しない構造のスタンドで子どもがアイロンをスタンドから外せないロック機能を付加したもの

であった。

7. 消費者へのアドバイス

アイロンでやけどを負った事例は、使用者である大人よりも周囲にいる子ども、特に 2 歳以下の乳幼児で 8 割と高い割合を占めていることがわかった。

また、乳幼児は皮膚が大人より薄いため強い傷害を受けやすく、熱いものに触れたときには、反射的に手を離せない。そのためか、Ⅲ度のやけど(皮膚全層さらには皮下組織にまでおよぶほど傷が深く、植皮手術が必要となるようなやけど)を負っている事例がある。

子どもがやけどの危険性を理解し適切な行動がとれる能力を身に付けるまで(おおよそ4歳頃)は、特に注意する必要がある。

(1) 子どもが寝ている時間帯や手の届かない場所で使うようにする

消費者へのアンケートから、子どもがそばにいてアイロンがけしている状況が多く見られるが、極力子どもが寝ているときや子どもの手が届かない場所でアイロンがけを行うよう心がける。

(2) 使用後のアイロンは長い時間高い温度なので、速やかに子どもの手の届かない場所に片付ける

使用後のアイロンの表面は、約 40 分～1 時間 40 分近くもの長い時間、高い温度のままなので、子どもが手を触れることのできない場所に速やかに片付ける。

(3) 使い終わったアイロンを収納ケースでカバーし、子どもが手でアイロンに触れられないよう工夫したものがあるので購入時に目安となろう

テスト対象のコードレスタイプには、スタンドに置いたアイロンに収納ケースをかぶせ子どもが手を触れられないように工夫したものがあった。使用後の収納ケースの表面温度は比較的低いので、アイロンを購入する際に一つの目安になろう。

8. 業界への要望

子どものやけど事故を防止するためには、使用後は速やかに冷めるアイロンが望ましいので将来そのような製品が開発されることを期待したい。

(1) 使用後のアイロンに触れて起きている事例もあることから、使用後のアイロンを収納ケースに入れて安全に保管できる製品も選択できるよう商品の充実を要望する

使用後のアイロンの表面は、約 40 分～1 時間 40 分近く長い時間高い温度のままであること、また、アイロンによる子どものやけど事故には、使用後のアイロンに触れて起きている事例もあることから、使用後は、アイロンを収納ケースに入れて保管する方法が安全と考えられるので、このような商品も消費者が選択できるよう商品の充実を要望する。

(2) 電源を切った後のアイロンが高温であることがわかる温度表示の開発

アイロンのかけ面が高温の状態であることがわかると、大人が子どものやけど事故を防止するために注意意識が高まり有効と考えられるので、高温であることがわかる温度表示等を装備した商品の開発を要望する。

(3) 使用中・使用後のアイロンによるやけど事故防止のため、高温部が露出しない構造のアイロンスタンドの開発

使用中・使用後に置いたアイロンの高温部が露出しない構造のアイロンスタンドが事故防止に有効と考える。また、使用後は、子どもがアイロンをスタンドから容易に外すことができないようにロックできる構造も有効と考えられるので、これらの構造を有する商品の開発を要望する。

○ 要望先

社団法人 日本電機工業会 家電部

○ 情報提供先

内閣府 国民生活局 総務課国民生活情報室
経済産業省 商務流通グループ 消費経済政策課
経済産業省 商務流通グループ 製品安全課

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165

9. テスト方法

(1) 温度及び構造等

各部の温度測定は表 8 に示す条件で行った。なお、露出した部位やかけ面、スタンド、収納ケースについて熱画像装置や温度計を用いて最高温度の箇所を調べ、その温度を各部の最高温度とした。

表 8　温度測定条件

環境室温	18～22℃、無風(恒温恒湿室内)
電源	安定化電源：100V、50Hz
スチーム用水	満水状態(蒸留水、水温 18～22℃)

1)　使用中の温度など

電源を入れて、かけ面などが露出した部位で最高温度になる箇所の温度と時間を調べた。また、スタンドの調査は、通電後約 5 分で電源(ヒーター)が切れた後にアイロン本体を外したときの温度と時間を調べた。

2)　使用後のアイロンの冷めやすさ

通電後約 5 分で電源(ヒーター)が切れた後に電源プラグを抜き、露出したかけ面などの最高温度になる箇所の温度と時間を調べた。

3)　安全対策

スタンドに置いたときかけ面が露出していないか、スタンドの形状やロック機能などの構造を調べた。また、収納ケースの温度測定は、通電後約 5 分で電源(ヒーター)が切れた後に電源プラグを抜き速やかに収納ケースを被せ温度と時間を調べた。

4)　転倒など

アイロン本体の取っ手に触れて倒すことを想定し、満水状態のアイロンを通電し十分に安定した後、スタンド付はスタンドに置いて、スタンドなしは立てた状態で、滑車を用いて取っ手を水平に引っ張り転倒したときの荷重を測定した(写真 6 参照)。なお、横滑り防止のために高さ 1cm のストッパーを用いた。

満水状態のアイロンを通電し十分に安定させた後、転倒させて熱湯やスチームが漏れることがないか調べた。

写真 6　転倒する荷重測定(例、かけ面側)

(2) 表示

1)　本体の高温表示

通電後十分に安定した状態で電源プラグを抜いて、かけ面などが高温であることの表示等が視覚的に確認できるか調べた。

2)　注意表示

子どもへの注意、高温部やスチームによるやけどの注意などに関する注意表示について、取扱説明書や製品本体に記載されているか調べた。

参考資料

(1) 消費者へのアンケート調査結果

アンケート調査は、神奈川県相模原市内の幼稚園児、保育園児のいる家庭を対象にアンケートを行った(回答数 383 家庭、実施時期 2008 年 10～11 月)。なお、実施にあたっては独立行政法人産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センターの協力を得た。

消費者へのアンケート調査結果一覧(１)

	回答者の属性																				
	性別(n=383)			年齢(n=383、平均年齢35.3歳)							子どもの年齢(複数回答n=695)										
	男性	女性	不明、無回答	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明、無回答	0～3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6～9ヶ月未満	9～12ヶ月未満	12～18ヶ月未満	18～24ヶ月未満	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
人	7	376	0	0	37	274	67	1	0	4	4	8	7	7	28	29	54	74	121	132	79	152
%	1.8	98.2	0.0	0.0	9.7	71.5	17.5	0.3	0.0	1.0	0.6	1.1	1.0	1.0	4.0	4.2	7.8	10.6	17.4	19.0	11.4	21.9

	アイロンの所有状況についておたずねします(n=383)			アイロンの使用状況についておたずねします(n=375)																			
	問1.現在、ご家庭でアイロンをお持ちですか			問2. お持ちのアイロンのタイプはどれですか									問3. どのくらいの頻度でアイロンを使っていますか							問4. アイロンを使うとき、お子様が近くにいるとこがありますか(例：横で眠っている、遊んでいる、など)					
	持っている	持っていない	不明、無回答	コード式	コードレス式	不明、無回答	スチーム機能あり	スチーム機能なし	不明、無回答	スタンドあり	スタンドなし	不明、無回答	ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回	月に2～3回	年に数回	その他	不明、無回答	よくある	たまにある	めったにない	まったくない	その他	不明、無回答
人	375	8	0	154	213	8	360	7	8	223	133	19	30	65	100	77	98	4	1	57	135	115	59	3	6
%	97.9	2.1	0.0	41.1	56.8	2.1	96.0	1.9	2.1	59.5	35.5	5.0	8.0	17.3	26.7	20.5	26.1	1.1	0.3	15.2	36.0	30.7	15.7	0.8	1.6

	アイロンの安全性に関する意識についておたずねします(n=383)																							
	問5. あなたのお考え、感じていることに最も近いと思う場所(6段階評価)に○をつけてください																							
	(1)アイロンに使用後も高温を知らせる装置(警告ランプ等)がついていたら･･･							(2)アイロンに子どもが勝手に電源スイッチを入れられない装置(チャイルドロック)がついていたら･･･							(3)アイロンに高温部全体をワンタッチでカバーできて、子どもにははずせない仕組みのスタンドまたはカバーがついていたら･･･						
	子どものやけど予防には役立たないと思う					こどものやけど予防に役立つと思う	不明、無回答	子どものやけど予防には役立たないと思う					こどものやけど予防に役立つと思う	不明、無回答	子どものやけど予防には役立たないと思う					こどものやけど予防に役立つと思う	不明、無回答		
人	47	58	27	35	95	105	16	26	35	28	44	78	157	15	11	21	27	53	82	175	14		
%	12.3	15.1	7.1	9.1	24.8	27.4	4.2	6.8	9.1	7.3	11.5	20.4	41.0	3.9	2.9	5.5	7.0	13.8	21.4	45.7	3.7		
	(4)アイロンに子どものやけどを予防する仕組みがついていて、値段が手ごろだったら･･･							(5)アイロンを使っている時に子どもが近づかないようにするには･･･							(6)アイロンを使った後、十分冷めるまで子どもが近づかないように気をつけているのは･･･							
	使いたいと思わない					ぜひ使いたい	不明、無回答	私にはとてもむずかしい					私にはとても簡単	不明、無回答	私にはとてもむずかしい					私にはとても簡単	不明、無回答		
人	11	13	34	71	90	149	15	26	40	55	81	82	83	16	9	38	48	65	93	116	14		
%	2.9	3.4	8.9	18.5	23.5	38.9	3.9	6.8	10.4	14.4	21.1	21.4	21.7	4.2	2.3	9.9	12.5	17.0	24.3	30.3	3.7		

消費者へのアンケート調査結果一覧（２）

	アイロンの安全性に関する意識についておたずねします(n=383)																				
	問5. あなたのお考え、感じていることに最も近いと思う場所(6段階評価)に○をつけてください																				
	(7)私がアイロンをしまっている場所に･･･							(8)アイロンによる子どものやけどを私と家族の努力だけで防ぐのは…						(9)私の子どもがアイロンでやけどをする(または、もう一度する)ことは･･･							
	子どもの手が絶対に届くと思う					子どもの手は絶対に届かないと思う	不明、無回答	とてもむずかしい					不明、無回答	絶対ないと思う					絶対にあると思う	不明、無回答
人	89	38	35	28	57	119	17	3	16	46	86	126	90	16	42	104	77	96	41	8	15
%	23.2	9.9	9.1	7.3	14.9	31.1	4.5	0.8	4.2	12.0	22.4	32.9	23.5	4.2	11.0	27.1	20.1	25.1	10.7	2.1	3.9

	アイロンの安全性に関する意識についておたずねします(n=383)							問6. アイロンのかけ面が最も高温になったときの温度は、どのくらいだと思いますか？「このくらい」と思うところに○をつけてください（ｎ=383）											問1で「持っている」とお答えした方におたずねします			
	問5. あなたのお考え、感じていることに最も近いと思う場所(6段階評価)に○をつけてください																		アイロンによるお子様のやけど事故についておたずねします			
	(10)私の子どもがアイロンでやけどをしたら(または、もう一度したら)･･･																		問7. お子様がアイロンでやけどした、またはやけどしそうになった経験がありますか(n=375)			
	たいしたやけどではないと思う					ひどいやけどだと思う	不明、無回答	５０度		１００度（沸騰した湯）		１５０度		２００度（天ぷら油）		２５０度		３００度以上	不明、無回答	やけどをした	やけどをしそうになった	いずれの経験もない	不明、無回答
人	24	36	65	82	92	67	17	0	4	27	7	78	40	123	17	56	8	11	12	25	39	309	2
%	6.3	9.4	17.0	21.4	24.0	17.5	4.4	0.0	1.1	7.1	1.8	20.4	10.4	32.1	4.4	14.6	2.1	2.9	3.1	6.7	10.4	82.4	0.5

	問7で「やけどをした」、「やけどをしそうになった」とお答えした方におたずねします。2回以上経験がある場合は、もっとも危険だったケースについてお書きください(n=64)																						
	(1) それは、お子様が何歳のときでしたか													(2)そのお子様がやけどした、またはやけどをしそうになった場所はどこですか							(3)やけどの程度は？		
	0～3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6～9ヶ月未満	9～12ヶ月未満	12～18ヶ月未満	18～24ヶ月未満	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	不明、無回答	首から上（顔面や耳など）	胴体（背中、お腹、お尻など）	腕・肩	手首から先（手のひら、手指など）	足（ふともも、すねなど）	足首から先（かかと、足指など）	不明、無回答	医者にかかった	医者にかからなかった	不明、無回答
人	0	0	3	2	8	7	12	14	8	4	1	0	5	1	0	4	56	2	0	1	3	55	6
%	0.0	0.0	4.7	3.1	12.5	10.9	18.8	21.9	12.5	6.3	1.5	0.0	7.8	1.6	0.0	6.3	87.5	3.1	0.0	1.5	4.7	85.9	9.4

	(4)その時、アイロンは使用中でしたか?					(5)その時、アイロンはどこに置いてありましたか?					(6)その時の状況は、次のどれですか?				(7)そのときの状況は、次のどれですか?									
	使用中（電源が入っている状態）	使用後間もなく（電源がきれている状態）	使用後・保管中（電源が切れている状態）	その他	不明、無回答	床・畳の上	低いテーブル・こたつ・茶卓の上、またはその程度の高さの棚	高いテーブル（例、食卓テーブル）、またはその程度の高さの棚	棚の中（扉が閉まった状態）	不明・無回答	おとなが見ている時に起きた	おとなが少し目を離した時に起きた	おとなは誰もその場にいなかった	不明、無回答	本体に手をのばして高温部でやけどした（しそうになった）	電源コードに手をのばしてひっぱり、高温部でやけどした（しそうになった）	本体にぶつかって高温部でやけどをした（しそうになった）	電源コードにぶつかって引っかけ、高温部でやけどした（しそうになった）	使用後または保管中のアイロンの電源を自分で入れ、高温部でやけどをした（しそうになった）	なにが起きたのか、わからない	その他	不明、無回答
人	38	18	5	0	3	42	17	3	1	1	36	26	2	0	37	1	11	0	1	1	10	3
%	59.4	28.1	7.8	0.0	4.7	65.6	26.5	4.7	1.6	1.6	56.3	40.6	3.1	0.0	57.8	1.6	17.2	0.0	1.6	1.6	15.6	4.6

	(8)その時使っていたアイロンのタイプは?								(9)やけどした、またはやけどをしそうになったことをどこかに申し出ましたか。あてまはまるもの全てに○をつけてください(n=64)					
	コード式	コードレス式	不明、無回答	スチーム機能あり	スチーム機能なし	不明、無回答	スタンドあり	スタンドなし	不明、無回答	販売店	メーカー	消費生活センター	どこにも申し出なかった	その他	不明、無回答
人	26	36	2	57	2	5	36	22	6	0	0	0	62	0	2
%	40.6	56.3	3.1	89.1	3.1	7.8	56.3	34.4	9.3	0.0	0.0	0.0	96.9	0.0	3.1

(2) メーカーへのアンケート調査結果

テスト対象銘柄の製造又は販売会社(4社)を対象にアイロンの安全対策に対する取り組み等についてアンケートを送付し、4 社から回答を得た(実施時期 2008 年 11～12 月)

メーカーへのアンケート調査結果一覧(1)

	問1　出荷台数を教えてください。(4社合計、2007年度)			問2　製品の不具合以外によって子どもがやけどした旨の報告はありますか。		問3　アイロンによる子どものやけど防止全般について、どうお考えですか。あてはまるものすべてに丸をつけてください。（なお、アンケート中の「製品」とは、表示や取扱説明書を含みます。）（複数回答）						
	国内向け	国外向け		ある	ない	①すでに製品の改善に取り組んでいる、または取り組んだ。	②製品に問題があると考えるので、製品の改善は必要と考える。	③製品に問題があると考えるが、製品の改善は必要ないと考える。	④保護者の不注意と考えるが、製品の改善は必要と考える。	⑤保護者の不注意と考えるので、製品の改善は必要ないと考える。	⑥子どもがやけどしていることを知らなかったので、わからない。	⑦その他
万台	約175	約422.8	社	1	3	3	0	0	1	1	0	0
			【補足説明】	過去5年で1件、お店でのデモ中に手を触れた		・現在は「安全上のご注意」の頁に「子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけど、感電、けがをする恐れがあります」との表記はあります ・市場における事故発生状況に応じて、更なる注意喚起等について検討する。 ・製品として熱いまま収納できるケース付の製品を販売しています。このケースは両手で開ける構成としており、小さなお子様では容易に開けることができないよう配慮しております。また取扱説明書の警告表示として「子供などの取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所では使わない」と記載しております。					

問4　次のやけど防止策に取り組んでいますか？今後、子どものやけど防止、または減らすために以下の対策は有効と考えますか、また製品化できますか。①～③のそれぞれについて、どちらかを選んでください。また回答に関する補足説明があればご記入ください。																	
	●表示						●製品自体										
	1)保護者に向けた子どものやけどの注意表示を改善する。						2)自動電源停止装置(オートオフなど)の装備。						3)使用後のかけ面などの温度を速やかに下げる機能。					
	①		②		③		①		②		③		①		②		③	
	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない
社	3	1	4	0	4	0	3	1	4	0	3	1	0	4	4	0	0	4
製品化できない理由													技術的に(2社)、採算面で(3社)、市場ニーズが低い(2社)					
【補足説明】	・取説に「子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない」を記載 ・取扱説明書の警告表示として「子供などの取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所では使わない」と記載しております。						・一部のモデルには装備してあるが、一般商品、価格重視の商品へは装備していない。コストの問題もあり、また商品の選択はお客様がコストと合わせて選べるようレンジを分けている ・ただし、安価なアイロンについては採算面で製品化が難しい。 ・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。						・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。					

メーカーへのアンケート調査結果一覧（２）

問4　次のやけど防止策に取り組んでいますか？今後、子どものやけど防止、または減らすために以下の対策は有効と考えますか、また製品化できますか。①～③のそれぞれについて、どちらかを選んでください。また回答に関する補足説明があればご記入ください。

	●製品自体																	
	4)使用後の余熱を知らせる視覚表示器の装備。						5)子どもが容易に電源を入れられない装置(チャイルドロック)の装備。						6)使用後に子どもがコードを引っ張らないためにコンパクトに収納できる電源コード(コードリール式など)の装備。					
	①		②		③		①		②		③		①		②		③	
	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない
社	0	4	4	0	0	4	0	4	3	1	1	2	3	1	4	0	4	0
											不明、無回答：1社							
製品化できない理由	技術的に(1社)、採算面で(4社)、市場ニーズが低い(2社)						技術的に(1社)、採算面で(2社)、市場ニーズが低い(2社)											
【補足説明】	・温度が高い際は、赤色のLEDが点灯など可能と思うが、採算面及び方が一故障してやけどにつながるなど別のリスクも高いように思います ・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。						・実際のやけどとなるケースは不明ですが、子どもがスイッチを入れてから触ってしまったという場合が多いのではないでしょうか ・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。					・コードレスアイロンはコードリールを装備					

	●製品自体																	
	7)コードレスタイプの分離したスタンドなどに電源コードにつまづいたり、引っ張ったりしたときに外れやすいマグネットプラグの採用。						8)使用後すみやかにアイロンを覆うことのできるケースの装備(オプション含め)。						9)熱いかけ面を完全に覆う分離したスタンド(アイロンとは別に独立した部品)の装備(オプション含め)。					
	①		②		③		①		②		③		①		②		③	
	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない
社	0	3	2	1	0	3	3	1	4	0	3	1	0	4	3	1	0	4
	不明、無回答：1社																	
製品化できない理由	採算面で(1社)、市場ニーズが低い(2社)、その他(1社)												技術的に(2社)、採算面で(3社)、市場ニーズが低い(2社)					
【補足説明】	・取り扱いが複雑かつ煩雑になり、電源コード収納も面倒になる。 ・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。 ・コードレスアイロンの取扱いはありません						・このようなケースがあるなら、布地製がよいと思われますが、現時点で取扱困難 ・コードレスアイロンは全てケースカバー付き。 ・コードレスタイプに上ケースあり ・前述のとおり、このケースは、両手で開ける構成としており、小さなお子様では容易に開けることができないよう配慮しております。					・市場でのニーズ、部品販売しても有料だとご購入いただけない場合が推定されます。 ・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。					

	●製品自体							
	10)分離したスタンドは熱いかけ面を完全に覆う構造で、子どもが分離したスタンドからアイロン本体を容易に外せないロック機能(チャイルドロック機能付き)の装備。							その他、製品化できる(または製品化している)有効な手段を教えてください。
	①		②		③			
	a.すでに努力している	b.まだ努力の余地がある	a.有効である	b.有効でない	a.製品化できる	b.製品化できない		
社	0	4	4	0	0	4		4,5年前に店頭のデモの際に子供がその場所に飛び込んできて、アイロンに手を触れたケースがあったので、アクリル製のアイロン置き台を用意して使用していますが、個人の家庭ではよりよく子供の手に触れさせないように注意いただくことが最も効果のあることと思います。ツールとしては、ミトン(手袋)のようなものにアイロンを入れるのが使用勝手スペースなどで良いように感じます。 弊社といたしましては、お子様のいらっしゃるご家庭では、前述の熱いまま収納保管できるケース付製品をお使いいただき、 ・ご使用時には、お子様の手の届かないところでお使いいただき、 ・ご使用後は、直ちに、熱いまま収納保管できるケースに収納いただく ことをお勧めいたしております。
製品化できない理由	技術的に(2社)、採算面で(3社)、市場ニーズが低い(2社)							
【補足説明】	・お子様のやけどに関する事故の状況や市場ニーズを踏まえ、上記装備を備えた商品化を検討することを含め、引き続き、安全に配慮した商品づくりに努めてまいります。							

(3) 主な仕様(取扱説明書及びカタログ等抜粋)

No.	電源コード	スタンドの有無	定格 消費電力	かけ面 (最小値-最大値)		大きさ、寸法		重さ		電源コード類	スプレー・スチームに関すること							温度過昇防止装置など	電源切り忘れ防止機能など
				温度調節範囲	使えるまでの時間	アイロン	収納時	アイロン	収納時		スプレーなど	通常スチーム	スチーム噴射など	吊るしたまま使用できる	蒸気発生方式など	タンク容量	水漏れ防止機能など		
1	コードレス	あり	1200W	約120℃－約200℃	約1分30秒－約2分	高さ約123㎜×幅約100㎜×長さ約225㎜	高さ約188㎜×幅約172㎜×長さ約277㎜	約1.1kg	約2.3kg	ゴムコード約1.5mコードリール式	あり	あり	あり	あり	滴下式	約120ml	あり	温度過昇防止器	アイロンをスタンドに放置し、約10分後に電源(ヒーター)を切る。 (切り忘れ防止機能)
2			1200W	約120℃－約200℃	約1分25秒－約2分20秒	高さ約14.2cm×幅約10.4cm×奥行約21.1cm	高さ約21.0cm×幅17.7cm×奥行約27.0cm	約1.25kg	約2.3kg	有効長約1.6m(コードリール式)	あり	あり (約12ml/分)	あり	あり	滴下式	約120ml	あり	温度過昇防止器	アイロンをスタンドに置き、約10分放置すると自動的に通電停止 (電源切り忘れ防止機能(オートパワーオフ))
3			1400W	約120℃－約200℃	約1分10秒－約1分40秒	高さ約12cm　幅約9cm 長さ約21cm	高さ約20cm　幅約17cm　長さ約26cm	約1.0kg	約2.0kg	1.6m・コードリール付き	あり	あり	あり	あり	滴下式	約100ml	あり	温度過昇防止器	アイロンをスタンドに放置後約10分後にヒーター回路を切る (うっかりストッパー)
4			1500W (アイロン700W、ボイラースタンド800W)	平均100℃－平均197.5℃	約55秒－約150秒	高さ265×奥行185×幅305㎜		アイロン1.2kg、 ボイラー2.3kg		電源コード長さ1.8m スチームコード長さ1.8m	なし	あり (60g/分を連続で、3.5気圧)			アイロンとは別のボイラーで水を沸かす	500ml	あり	温度ヒューズ390℃	なし
5	コード式	なし	1400W	約114℃－約207℃	約50秒－約110秒	高さ約15.5cm　幅約14.5cm　全長約31.0cm		約1.5kg		約2m	あり	あり (0-25g/分)	あり (95g/分)	あり	滴下式	350cc	あり	温度ヒューズ390℃	立てた状態で8分以上、かけ面を下にしたまま、またはアイロンを横倒しにしたまま30秒以上放置させておくと、自動的に電源が切れ、自動停止安全ランプが点滅します。
6			1200W	約80℃－約200℃	約40秒－約1分20秒	高さ133㎜×幅123㎜×長さ277㎜		約1.2kg		ゴムコード約2.0m	あり	あり	あり	あり	滴下式	約200ml	なし	温度ヒューズ(動作温度240℃)	かける状態で通電したまま30秒間放置しておいたり、立てた状態で通電したまま15分間放置しておくと、自動的に電源が切れ、自動OFFお知らせランプが点滅し、ブザーが鳴り続けます。 (自動電源OFF機能、うっかり放置お知らせ)
7			1200W	約120℃－約200℃	約1分40秒－約2分30秒	高さ約15.1cm×幅約13.0cm×奥行き約30.2cm		約1.6kg		有効長約1.9m(コードリール式)	なし	あり (最大約26ml/分)	あり (連続約10秒間)	あり (連続約10秒間)	滴下式	約260ml	あり	温度過昇防止器	水平放置約1分、自立放置約10分後に自動的に通電停止 (電源切り忘れ防止機能(オートパワーオフ))
8			1400W	約80℃－約200℃	約40秒－約1分40秒	高さ約15cm　幅約13cm　長さ約30cm		約1.7kg		1.9m・コードリール付き	あり	あり	あり	あり	滴下式	約300ml	あり	温度過昇防止器	水平状態約1分後、自立放置約10分後にヒーター回路を切る (うっかりストッパー)
9			1000W	約110℃－約200℃	約1分－約1分50秒	高さ約12.0cm×幅約10.5cm×奥行約24.5cm		約1.1kg		有効長1.7m(コードリール式)	なし	あり	あり	あり	滴下式	約90ml	あり	温度過昇防止器	なし
10			1000W	約80℃－約205℃	約40秒－約1分40秒	高さ約13cm　幅約11cm　長さ約27cm		約1.3kg		1.9m・コードリール付き	あり	あり	あり	あり	滴下式	約160ml	なし	温度過昇防止器	なし

(4) やけどなどに関する警告、注意表示(取扱説明書及び製品本体抜粋)

No.	電源コード	スタンド有無	やけどに関する表示(取扱説明書抜粋)						その他		アイロン本体の表示	スタンド等の表示		
			子どもについて	スチーム、ショットスチームなどについて		高温部について	揺すった場合	湿った衣類について	アイロンの立て方	使用時以外離れることについて				
1	コードレス	あり	警告　子供だけで使わせない 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。 やけど・感電・けがをするおそれがあります。	注意　熱いスチームに手やひざを触れない　また、人や身体および着用したままの衣類に、ショット・スタンディングスチームをかけない アイロン台によってはスチームや湯滴が透過してやけどの原因になります。	注意　ショットボタンは連続して早く押さない 連続して早く押すと湯滴が出て、やけどをする恐れがあります。	注意　高温部(かけ面、カバー・かけ面支持部など)に触れない やけどの原因になります。	注意　アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない 注排水口やスチーム穴から湯滴がもれてやけどの原因になります。	なし	注意　アイロンは立てて置かない 必ずスタンドに置いてください。アイロンが倒れて、けが・やけどの原因になります。	注意　使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く アイロンから離れるときは、さし込みプラグをコンセントから抜く。 けがややけど、絶縁劣化による火災・感電・漏電の原因になります。	注意　やけどの恐れあり 高温部にふれないこと	注意　やけどの恐れあり 高温部(かけ面支持部)に触れないこと	注意　けがの恐れあり コードの巻き込みは差し込みプラグを持って行うこと	(収納ケース) 注意　通電したままケースをかぶせないでください。
2			警告　子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがの原因になります。	注意　熱いスチームやショットを手やひざにかけない　また、衣類を着用したままスチームやショットをかけない やけどの原因になります。アイロン台によっては、透過した熱いスチームや湯滴でやけどの原因になります。	注意　ショットボタンを連続して早く操作しない 2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。	注意　高温部(かけ面・カバー・スタンドなど)に触れない やけどの原因になります	注意　アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない やけど・水もれの原因になります。	注意　湿った衣類(霧吹きした衣類)は「ドライ」でアイロンかけをする「スチーム」でアイロンかけをすると湯滴が出てやけどの原因になります。	お願い　アイロンを立てて置かないでください アイロンが倒れて、けがややけどの原因になります。使用しないときは必ずスタンドに戻してください。	注意　アイロン通電中はアイロンから離れない　また、使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	注意　やけどの恐れあり 高温部(かけ面・カバー・スタンド)にふれないこと。	注意　やけどの恐れあり 高温部(かけ面・スチーム)にふれないこと。	注意　けがの恐れあり コードの巻き込みはプラグを持って行うこと。	(収納ケース) 注意　電源プラグをコンセントに差したままケースを装着しないでください。
3			警告　子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない やけど・感電・けがの原因になります。	注意　熱いスチームやショットに触れない ・手・ひざ・身体にかけない ・着用したままの衣類にかけない やけどの原因になります。 (アイロン台を透過したスチームや湯滴は、やけどの原因になります)	注意　ショットボタンを連続して早く操作しない 2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどをする原因になります。 / 注意　ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない 湯滴が出てやけどをする原因になります。	注意　高温部(かけ面・カバー・スタンド)に手を触れない やけどの原因になります。	注意　アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない 湯滴が出て、やけどの原因になります。	注意　湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをするスチームでアイロンかけをすると、湯滴が出てやけどをする原因になります。	注意　アイロンは立てて置かない アイロンが倒れて、やけど・けがをする原因になります。	注意　使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 ＊電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、アイロンを放置したままその場を離れないでください。	注意　やけどの恐れあり ・高温部に触れない ・ショットの勢いが弱くなったら湯滴がでるため使用しない	警告　けがの恐れあり 電源プラグを持ってコードを巻き込むこと	注意　やけどの恐れあり 高温部にふれないこと	
4			警告　子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。 やけど・感電・けがをする恐れがあります。	注意　スチームに触れないでください。やけどの原因になります。	注意　スチームボタンを連続して速く押さないでください。 湯滴漏れによるやけどの原因になります。 / 注意　使用中は決して注水口キャップを外そうとしないでください。 高圧蒸気が噴き出し、やけどの原因になります。	注意　高温になる部分(かけ面など)に触れないでください。 やけどの原因になります。	なし	なし	なし	注意　使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	なし	注意　・使用中の水の補給 ・使用直後のキャップの開閉 上記の行為は危険ですので、おやめください。		
5	コード式	なし	警告　子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。 やけど・感電・けがをする恐れがあります。	注意　熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。	注意　ジェットスチームボタンを連続して速く押さないでください。 湯滴漏れによるやけどの原因になります。	注意　高温になる部分(かけ面など)に触れないでください。 やけどの原因になります。	なし	なし	なし	注意　電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。 注意　使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。 けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	なし			
6			警告　子供だけで使わせない 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。 やけど・感電・けがをするおそれがあります。	注意　熱いスチームに手やひざを触れない　また、人や身体および着用したままの衣類に、ショット・スタンディングスチームをかけない アイロン台によってはスチームや湯滴が透過してやけどの原因になります。	注意　ショットスチームボタンは連続して早く押さない 連続して早く押すと湯滴が出て、やけどをする恐れがあります。	注意　高温部(かけ面、タンク底面など)に触れない やけどの原因になります。	注意　アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない 注排水口やスチーム穴から湯滴がもれてやけどの原因になります。	なし	注意　アイロンは安定した所に立てて置く 毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒してやけど・けがや敷物の損傷のおそれがあります。	注意　使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く アイロンから離れるときは、さし込みプラグをコンセントから抜く。 けがややけど、絶縁劣化による火災・感電・漏電の原因になります。	注意　やけどの恐れあり 高温部(かけ面・スチーム)にふれないこと			
7			警告　子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがの原因になります。	注意　熱いスチームやショットを手やひざにかけない　また、衣類を着用したままスチームやショットをかけない やけどの原因になります。アイロン台によっては、透過した熱いスチームや湯滴でやけどの原因になります。	注意　ショットボタンを連続して操作しない 湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。 / 注意　ご使用中、アイロンを置いているときは、ショットボタンを押さない やけどの原因になります。	注意　高温部(かけ面・カバーなど)に触れない やけどの原因になります。	注意　アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない やけど・水もれの原因になります。	注意　湿った衣類(霧吹きした衣類)は「ドライ」でアイロンかけをする「スチーム」でアイロンかけをすると湯滴が出てやけどの原因になります。	注意　アイロンは安定したところに立てる 毛足の長い敷物や不安定なところに置くと転倒して敷物の損傷やけが、やけどの原因になります。	注意　アイロン通電中はアイロンから離れない　また、使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	注意　やけどの恐れあり 高温部(かけ面など)にふれないこと。	注意　けがの恐れありコードの巻き込みはプラグを持って行うこと。	–		
8			警告　子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない やけど・感電・けがの原因になります。	注意　熱いスチームやショットに触れない ・手・ひざ・身体にかけない ・着用したままの衣類にかけない やけどの原因になります。 (アイロン台を透過したスチームや湯滴は、やけどの原因になります。)	注意　ショットボタンを連続して早く操作しない 2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどの原因になります。 / 注意　ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない 湯滴が出てやけどをする原因になります。 / 注意　ご使用中、アイロンを置いているときは、ショットボタンを押さない やけどの原因になります。	注意　高温部(かけ面・カバー・タンク下部)に手を触れない やけどの原因になります。	注意　アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない 湯滴が出て、やけどの原因になります。	注意　湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをするスチームでアイロンかけをすると、湯滴が出てやけどをする原因になります。	注意　アイロンは安定した所に立てて置く 毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して、敷物の損傷・けが・やけどの原因になります。	注意　使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 ＊電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、アイロンを放置したままその場を離れないでください。	警告　けがの恐れあり コードを巻き取る時は、電源プラグを持って巻き取る。電源プラグが当たることがあります。	注意　やけどの恐れあり ・高温部に触れない ・ショットの勢いが弱くなったら湯滴が出るため使用しない		
9			警告　子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない やけど・感電・けがの原因になります。	注意　熱いスチームやショットを手やひざにかけない　また、衣類を着用したままスチームやショットをかけない やけどの原因になります。アイロン台によっては、透過した熱いスチームや湯滴でやけどの原因になります。	注意　ショットボタンを連続して早く操作しない 2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。 / 注意　ご使用中、アイロンを置いているときは、ショットボタンを押さない やけどの原因になります。	注意　高温部(かけ面・カバーなど)に触れない やけどの原因になります	注意　アイロンを傾けたり、前後に激しく動かさない やけど・水もれの原因になります。	注意　湿った衣類(霧吹きした衣類)は「ドライ」でアイロンかけをする「スチーム」でアイロンかけをすると湯滴が出てやけどの原因になります。	注意　アイロンは安定したところに立てる 毛足の長い敷物や不安定なところに置くと転倒して敷物の損傷やけが、やけどの原因になります。	注意　アイロン通電中はアイロンから離れない　また、使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	注意　やけどの恐れあり 高温部(かけ面など)にふれないこと。	注意　けがの恐れありコードの巻き込みはプラグを持って行うこと。			
10			警告　子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない やけど・感電・けがの原因になります。	注意　熱いスチームやショットに触れない ・手・ひざ・身体にかけない ・着用したままの衣類にかけない やけどの原因になります。 (アイロン台を透過したスチームや湯滴は、やけどの原因になります。)	注意　ショットボタンを連続して早く操作しない 2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどの原因になります。 / 注意　ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない 湯滴が出てやけどをする原因になります。 / 注意　ご使用中、アイロンを置いているときは、ショットボタンを押さないやけどの原因になります。	注意　高温部(かけ面・カバー・タンク下部)に手を触れない やけどの原因になります。	注意　アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない 湯滴が出て、やけどの原因になります。	注意　湿った衣類は、ドライでアイロンかけをするスチームでアイロンかけをすると、湯滴が出てやけどをする原因になります。	注意　アイロンは安定した所に立てて置く 毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して、敷物の損傷・けが・やけどの原因になります。	注意　使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 ＊電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、アイロンを放置したままその場を離れないでください。	警告　けがの恐れあり コードを巻き取る時は、電源プラグを持って巻き取る。電源プラグが当たることがあります。	注意　やけどの恐れあり ・高温部に触れない ・ショットの勢いが弱くなったら湯滴が出るため使用しない			

<title>電気アイロンによる子どものやけど事故を減らすために</title>